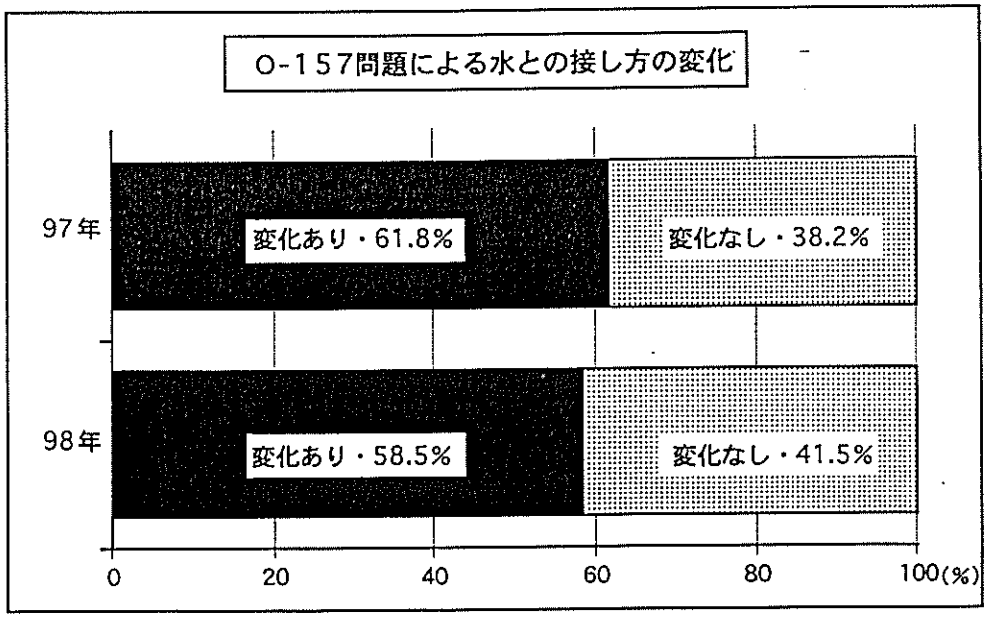
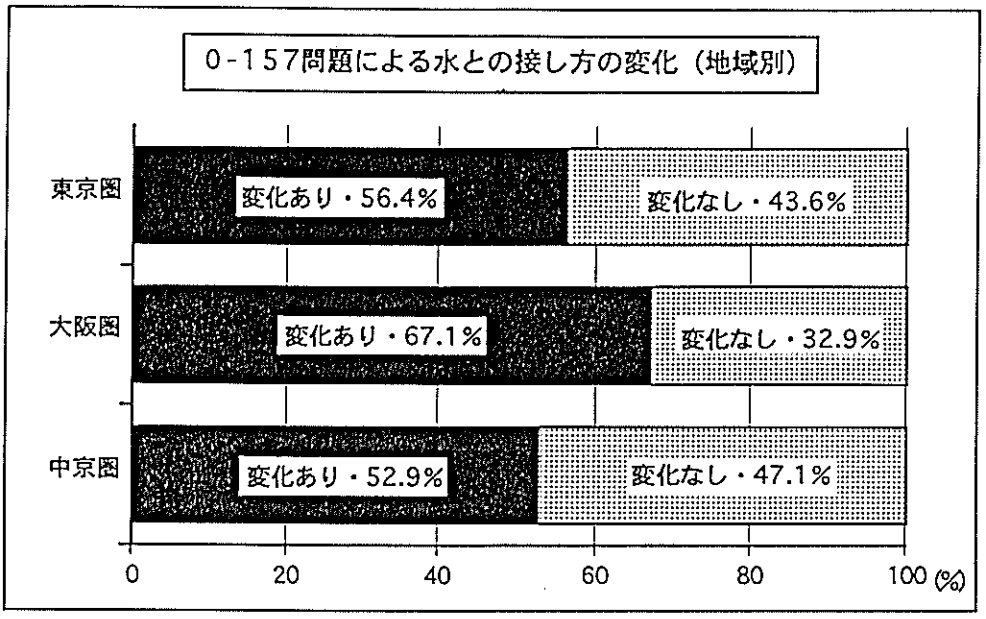
Q．O-１５７問題による水との接し方の変化は？

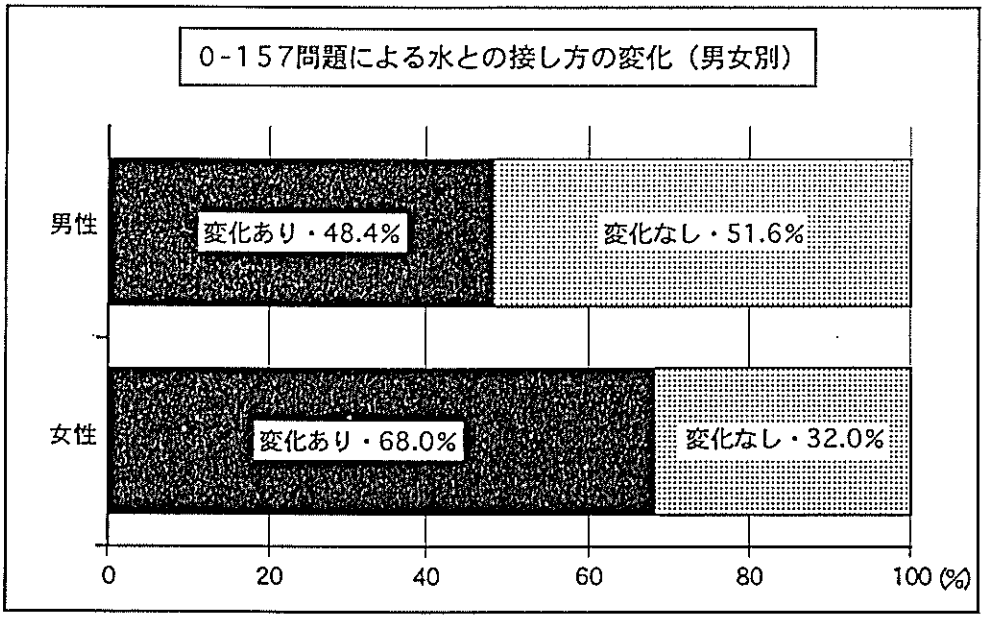
全体では５８.５％が『水との接し方などに変化あり』
男性と女性で約２０ポイントの開き

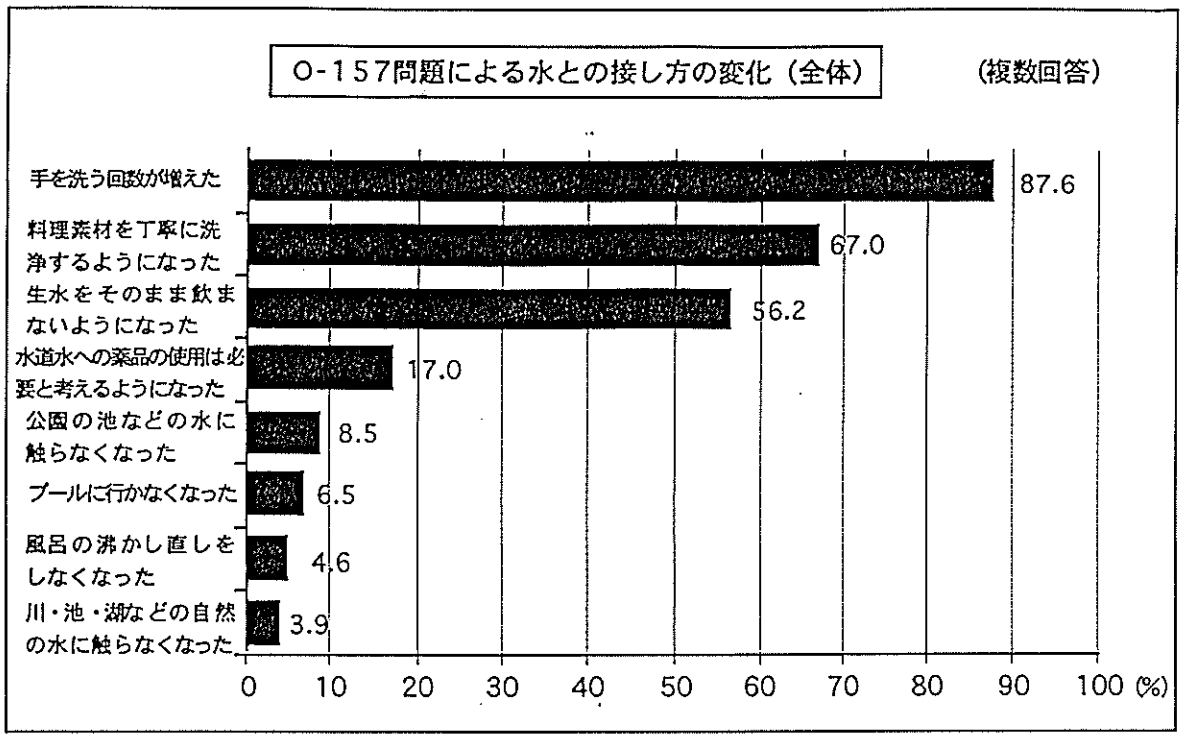
昨年に続いて、「O-１５７など食中毒関連のマスコミ報道などに接して、水の使い方、水との接し方、水道水に対する認識などに変化があったかどうか」聞きました。
全体では５８.５％が『変化あり』と回答しました。昨年（６１.８％）より若干減ったとはいえ、依然半数を超えています。また一昨年、特に多くのO-１５７患者が出た大阪圏では６７.１％が『変化あり』と答えており、昨年同様、他地域を大きく上回りました。
また男女別で見ると、『変化あり』と回答したのは、男性が４８.４％に対して女性が６８.０％と、昨年同様２０ポイント近くの大きな差が出ました。
変化があったと答えた方にその内容について聞いたところ（８択／複数回答）、全体では、１位『手を洗う回数が増えた』（８７.６％）、２位『料理の素材の洗浄を丁寧にやるようになった』（６７.０％）、３位『生水をそのまま飲まないようになった』（５６.２％）などとなりました。
地域別に見ても、順位や数字にそれほど大きな違いは見られませんが、『水道水に塩素などの化学薬品をある程度使うのは必要だと考えるようになった』について、大阪圏が２０.８％に対して中京圏が９.４％と、２倍以上の差がついているのが目に付きます。

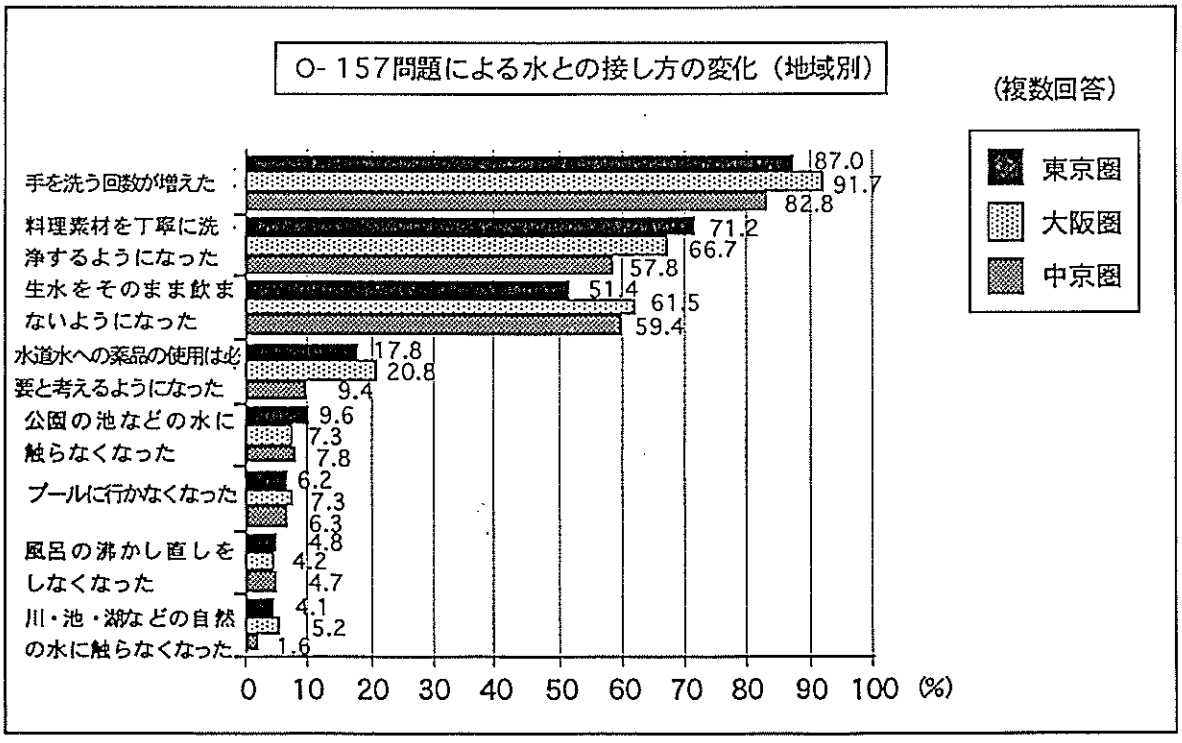
＊「男女別集計」及び「変化の内容集計」については次ページ参照




0-157問題による水との接し方の変化（地域別）
東京圏
変化あり・56.4%
変化なし・43.6%
大阪圏
変化あり・67.1%
変化なし・32.9%
中京圏
変化あり・52.9%
変化なし・47.1%
0
20
40
60
80
100 (%)


0-157問題による水との接し方の変化（男女別）
男性
変化あり・48.4%
変化なし・51.6%
女性
変化あり・68.0%
変化なし・32.0%
0
20
40
60
80
100 (%)


O-157問題による水との接し方の変化（全体）
（複数回答）
手を洗う回数が増えた
87.6
料理素材を丁寧に洗浄するようになった
67.0
生水をそのまま飲まないようになった
56.2
水道水への薬品の使用は必要と考えるようになった
17.0
公園の池などの水に触らなくなった
8.5
プールに行かなくなった
6.5
風呂の沸かし直しをしなくなった
4.6
川・池・湖などの自然の水に触らなくなった
3.9
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)


O-157問題による水との接し方の変化（地域別）
（複数回答）
東京圏
大阪圏
中京圏
手を洗う回数が増えた
87.0
91.7
82.8
料理素材を丁寧に洗浄するようになった
71.2
66.7
57.8
生水をそのまま飲まないようになった
51.4
61.5
59.4
水道水への薬品の使用は必要と考えるようになった
17.8
20.8
9.4
公園の池などの水に触らなくなった
9.6
7.3
7.8
プールに行かなくなった
6.2
7.3
6.3
風呂の沸かし直しをしなくなった
4.8
4.2
4.7
川・池・湖などの自然の水に触らなくなった
4.1
5.2
1.6
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)